令和４年度　うさみの園デイサービスセンター
事業報告書

１．事業運営の概況

・　利用者様の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように配慮した通所介護サービスの提供を行った。

・　市内の通所介護事業所数は依然として飽和状態にあり、1年を通じて施設入所や長期入院、逝去される方などで登録を抹消される数に対し、新規利用や追加利用の依頼が追い付かない状態にある。

・　前年に引き続き、新型コロナウイルスによる影響等で新規利用依頼は減少している。また感染症予防対策により同居者に県外勤務の方がいる場合やコロナウィルス発生事業所を利用されている等の理由で利用を制限することも多く、前年度から引き続き稼働状況は下降状態で終えている。

・　新型コロナウイルス陽性者が複数名発生したことにより、令和４年７月 21 日から同７月 29 日の間と、8 月 24 日から９月 8 日の間は営業を停止した。

・　令和４年度の利用延べ人数は 2,899 名、平均稼働率は 40.3％となり、目標の 60％には至らなかった。

２．事業計画実施状況

（1）　業務の改善

①　個別介護支援

居宅サービス計画書に基づいた通所介護計画書の作成、毎月の状況報告やモニタリング・アセスメントに介護職員が数名づつ担当し関わるようにしている。これにより各担当者同士の意見交換や利用者様の状況把握の強化、職員の知識・技術向上と共にサービス内容の向上に繋げることが出来た。

②　機能訓練等

感染症予防対策によりソーシャルディスタンスを維持する中で実施できるものは継続し、日常生活動作の維持・向上に役立てることが出来た。

（2）　レクリエーションの充実

感染症予防対策を徹底しつつレクリエーションの種類を増やし、季節に応じたプログラムや食レクを月単位で計画し、ご利用者・ご家族へ前月に予定表を

配布している。

（3） 環境整備

新型コロナウイルス流行による感染症予防対策のためテーブル毎にパーテーションの設置やテーブルの台数を増やすなどソーシャルディスタンスの確保、また定期的な消毒や送迎車の消毒清掃、換気等の環境・衛生管理に努めた。

また、職員の出勤時とご利用者の送迎車乗車前の検温、マスク着用と手指消毒等を確実に行い、ご利用者・職員とも罹患しないよう日頃から施設内感染を防ぐことに重点を置き衛生管理を徹底した。